

8. データ

ばく露歴と医学的所見に係わる集計表 (奈良県)

A-1表 2009年度受診者:374名(平成2年以降に奈良県に居住していた者を除く)

症例番号	性別	生年(西暦)	2007年度所見	2008年度所見	2009年度X線所見	2009年度CT	最新の所見	ア 直接曝露あり	イ 間接曝露あり	ウ 家庭内ばく露あり	エ 立入・屋内環境ばく露あり	オ その他	ばく露歴分類	備考 (その他所見など)	調査終了理由
1	女	1940代		㉒	軽減	○	㉒、㉓	●	●	●		●	ア		
2	男	1930代	㉒、㉓、㉔	㉒	不変	○	㉒	●	●			●	ア		
3	男	1930代		なし	新所見	—	㉔	●	●			●	ア	右肺炎陳旧性癒痕	
4	女	1940代		㉔	軽減	—	なし	●	●			●	ア		
5	男	1930代		㉔	軽減	—	なし	●	●				ア		
6	女	1950代		㉔	軽減	—	なし	●	●			●	ア		
7	男	1940代		㉒、㉓	軽減	○	㉒疑、㉔	●	●			●	ア	右中葉小結節影	
8	男	1950代				○	なし	●	●			●	ア		
9	男	1930代				○	㉔	●	●				ア	肺野の間質影(石綿以外の原因である可能性が高い)、左下肺すりガラス影、右中葉石灰化小結節影、左下葉板状無気肺	医療の必要あり
10	女	1950代	㉔	㉔	軽減	—	なし	●		●		●	ア		
11	男	1930代		㉔	不変	—	㉔	●		●		●	ア	右肺炎・右中葉癒痕、右下肺野粒状影	医療の必要あり
12	男	1940代		なし	不変	—	なし	●		●		●	ア		
13	女	1930代	㉔	㉔	軽減	—	なし	●		●			ア		
14	男	1960代		なし	不変	—	なし	●		●			ア		
15	男	1940代		㉒、㉔	軽減	○	㉒、㉔	●			●	●	ア	肺野の間質影(石綿以外の原因である可能性が高い)、右中葉癒痕	
16	男	1930代	なし	なし	不変	—	なし	●			●		ア		
17	男	1940代	なし	なし	不変	—	なし	●			●		ア		
18	男	1930代	㉒、㉔	㉒、㉔	軽減	○	㉒疑、㉔	●			●		ア	右下肺癒痕(線状影)、右中葉癒痕	
19	男	1940代	㉔	㉔	不変	—	㉔	●			●		ア	気腫性変化、肺野の間質影(石綿以外の原因である可能性が高い)	医療の必要あり
20	男	1940代		㉓、㉔	軽減	—	㉔	●			●		ア	左肺門リンパ節石灰化	
21	男	1950代	㉓	㉓	不変	—	㉔	●				●	ア	陳旧性変化	
22	女	1960代	なし	なし	不変	—	なし	●				●	ア		
23	男	1960代	なし	なし	不変	—	なし	●				●	ア		
24	男	1940代	㉓	なし	不変	—	なし	●				●	ア		
25	男	1930代	なし	なし	不変	—	なし	●				●	ア		
26	男	1930代	㉒、㉓、㉔、㉔	㉒、㉓	軽減	○	㉒、㉓、㉔	●				●	ア	左肺底部癒痕	
27	男	1930代	㉔	なし	不変	—	なし	●				●	ア		
28	男	1940代	㉔	なし	不変	—	なし	●				●	ア		
29	男	1940代	㉒		不変	○	㉒疑	●				●	ア		
30	女	1940代	㉓、㉔	㉔	不変	—	㉔	●				●	ア	左下肺癒痕陰影	
31	女	1960代	なし	なし	不変	—	なし	●				●	ア		
32	男	1940代	㉔	なし	不変	—	なし	●				●	ア		
33	男	1930代	㉒、㉔	㉓、㉔	軽減	—	㉔	●				●	ア	左下肺陳旧性変化	
34	男	1940代	㉔	なし	不変	—	なし	●				●	ア		
35	男	1930代	㉔	㉔	軽減	—	なし	●				●	ア		

症例 番号	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 所見	2009年度 X線所見	2009年度 CT	最新の 所見	ア 直接曝歴 あり	イ 間接曝歴 あり	ウ 家庭内ば く露あり	エ 立入・屋 内環境ば く露あり	オ その他	ばく露 歴分類	備考 (その他所見など)	調査終 了理由
36	男	1930代		⑩	軽減	—	なし	●				●	ア		
37	男	1960代		⑩	不変	—	⑩	●				●	ア	左右陳旧性変化	
38	男	1930代		⑩	不変	—	⑩	●				●	ア	左肋横角鈍化	
39	男	1940代		⑩	不変	—	⑩	●				●	ア	両側肺尖癒痕影	
40	女	1950代		⑩	不変	—	⑩	●				●	ア	左右陳旧性変化	
41	男	1950代		⑤	軽減	○	⑩	●				●	ア	右中葉スリガラス影	
42	男	1950代		なし	不変	—	なし	●				●	ア		
43	男	1940代		②、⑩	軽減	○	②、⑩	●				●	ア	右中葉炎症性変化、両肺尖 陳旧性変化	
44	男	1940代		⑩	軽減	○	⑩	●				●	ア	右中葉・左上葉小結節影	
45	男	1930代		②、⑩	軽減	○	②、⑩	●				●	ア	胸腺遺残、左舌区癒痕	
46	男	1940代		②	不変	○	②	●				●	ア		
47	男	1950代		なし	不変	—	なし	●				●	ア		
48	男	1970代		なし	不変	—	なし	●				●	ア		
49	女	1930代				○	②、⑩	●				●	ア	右板状無気肺	
50	男	1940代	⑩	⑩	軽減	—	なし	●					ア		
51	男	1980代	⑩	なし	不変	—	なし	●					ア		
52	女	1930代	⑩	なし	不変	—	なし	●					ア		
53	女	1920代	②、⑤、⑩	②	不変	○	②、⑩	●					ア	肺野の間質影(石綿以外の原因 である可能性が高い)、右 上葉漫漶影、左下葉小結節 影	医療の 必要あり
54	男	1940代	⑧	⑧	軽減	—	なし	●					ア		
55	男	1940代	⑩	なし	新所見	—	⑩	●					ア	右肺膿瘍、癒痕陰影	
56	男	1930代	⑩	⑩	不変	—	⑩	●					ア	右上肺癒痕	
57	男	1940代	②、⑩	②	軽減	○	②	●					ア		
58	男	1950代	⑩	なし	不変	—	なし	●					ア		
59	男	1920代	②、⑩	②、⑩	軽減	○	②、⑩	●					ア	右下葉小のう胞	
60	男	1940代	②	②、⑤	軽減	○	②、⑩	●					ア	小結節影	
61	男	1930代	⑩	⑩	軽減	—	なし	●					ア		
62	男	1920代	②、⑩	②、⑩	軽減	○	②、⑩	●					ア	肺気腫、両上肺ブラ	
63	男	1930代	②、⑤	②、⑤、⑩	軽減	○	②、⑩	●					ア	右中葉小結節影	
64	男	1940代	⑩	⑩	不変	—	⑩	●					ア	両側陳旧性変化(右上肺・左 中肺)	
65	女	1930代	⑩	⑩	不変	—	⑩	●					ア	右肺癒痕	
66	男	1940代	⑩	⑩	不変	—	⑩	●					ア	心拡大	
67	男	1930代	②、⑤、⑥、 ⑩	②	不変	○	②	●					ア		
68	男	1940代	②、⑩	なし	不変	—	なし	●					ア		
69	男	1930代	②、③、⑦	②、③、⑦、 ⑨、⑩	軽減	○	②、⑦、⑩	●					ア		
70	男	1920代		⑩	不変	—	⑩	●					ア	陳旧性変化	
71	男	1920代		②	不変	○	②	●					ア		
72	男	1940代		⑩	不変	—	⑩	●					ア	左陳旧性炎症性変化	
73	男	1940代		なし	不変	—	なし	●					ア		
74	男	1940代		⑩	不変	—	⑩	●					ア	両肺尖癒痕	
75	女	1940代				○	⑩	●					ア	両上葉小結節影	

症例番号	性別	生年(西暦)	2007年度所見	2008年度所見	2009年度X線所見	2009年度CT	最新の所見	ア 直接露歴 あり	イ 間接露歴 あり	ウ 家庭内ば く露あり	エ 立入、屋 内環境ば く露あり	オ その他	ばく露 歴分類	備考 (その他所見など)	調査終 了理由
76	男	1930代				○	⑩	●					ア	左右下葉小結節影	
77	男	1920代				○	②、③、⑥、 ⑩	●					ア	心拡大	
78	男	1940代				○	⑩	●					ア	気管支壁肥厚	医療の 必要あり
79	男	1930代				○	②、⑥、⑩	●					ア	肺門縦隔リンパ節石灰化、右 上葉のう胞	医療の 必要あり
80	男	1940代			精査中			●					ア	精査中	
81	女	1940代	⑩	なし	不変	—	なし		●	●	●		イ		
82	女	1960代	なし	なし	不変	—	なし		●	●	●		イ		
83	女	1940代	②、⑤	②	不変	○	②		●	●		●	イ		
84	女	1930代	②、⑩		新所見	○	②、③疑、 ⑩		●	●		●	イ	右陳旧性胸膜炎、両側肺萎 縮影	
85	女	1940代	なし		不変	—	なし		●	●		●	イ		
86	男	1940代	②、⑩	②、③、⑩	軽減	○	②疑、⑩		●	●		●	イ	左下胸膜癒着陰影、左肋横 角鈍化	
87	男	1960代		なし	不変	—	なし		●	●		●	イ		
88	男	1950代		なし	不変	—	なし		●	●		●	イ		
89	男	1930代		なし	不変	—	なし		●	●		●	イ		
90	男	1940代		⑩	不変	—	⑩		●	●		●	イ	右横隔膜挙上	
91	男	1930代		②、⑤、⑥、 ⑩	軽減	②、⑥、⑩	②、⑥、⑩		●		●	●	イ	肺気腫	
92	男	1930代		③、⑩	不変	—	⑩		●		●	●	イ	両上肺陳旧性変化、右中肺 小結節影	
93	男	1920代		③、⑩	不変	○	⑩		●		●		イ	肺気腫、右上肺ブラ、左中肺 野小結節影	
94	男	1930代	⑩	なし	不変	—	なし		●			●	イ		
95	男	1930代	⑤、⑩	⑥、⑩	軽減	○	⑩		●			●	イ	気腫性変化	
96	男	1930代	②、⑩	②、⑩	軽減	○	②		●			●	イ		
97	女	1940代	なし	なし	不変	—	なし		●			●	イ		
98	男	1940代	②、⑩	②、③、⑩	軽減	○	②、⑩		●			●	イ	左下葉小結節影	
99	男	1930代		⑩	不変	—	⑩		●			●	イ	右肺尖癒着	
100	男	1930代		③、⑩	不変	○	⑩		●			●	イ	右下肺癒着陰影	
101	男	1950代		⑩	不変	—	⑩		●			●	イ	右肺尖炎症性癒着	
102	男	1940代		なし	不変	—	なし		●			●	イ		
103	男	1950代		⑩	不変	—	⑩		●			●	イ	右肺陳旧性変化	
104	男	1950代				○	⑩		●			●	イ	右肺陳旧性炎症性変化、両 肺尖のう胞	
105	男	1940代	②、⑩	②、③、⑥、 ⑩	軽減	○	②、⑥疑、 ⑩		●				イ	両側気腫性変化、下葉索状 影	
106	男	1940代	⑩	なし	不変	—	なし		●				イ		
107	男	1950代	なし	なし	不変	—	なし		●				イ		
108	男	1940代		なし	不変	—	なし		●				イ		
109	男	1960代	⑩	⑩	不変	—	⑩			●	●	●	ウ	気胸術後の変化、右肋横角 鈍化	
110	男	1940代	②	②	軽減	○	②			●	●	●	ウ		
111	女	1940代	⑩	なし	不変	—	なし			●	●	●	ウ		
112	女	1940代	⑩	なし	不変	—	なし			●	●	●	ウ		
113	女	1930代	②	②	軽減	○	②			●	●	●	ウ		
114	女	1930代	②、⑩	②	不変	○	②			●	●	●	ウ		
115	女	1970代	なし	なし	不変	—	なし			●	●	●	ウ		

症例番号	性別	生年(西暦)	2007年度所見	2008年度所見	2009年度X線所見	2009年度CT	最新の所見	ア 舌接線あり	イ 間接線あり	ウ 気道内ばく露あり	エ 立入・屋 内ばく露あり	オ その他	ばく露 歴分類	備考 (その他所見など)	調査終 了理由
116	男	1970代	なし	なし	不変	—	なし			●	●	●	ウ		
117	女	1940代		⑩	軽減	—	なし			●	●	●	ウ		
118	男	1930代		⑧	不変	○	⑩			●	●	●	ウ	心陰影、右上葉限局性スリガラス影、右上葉炎症性変化	医療の 必要あり
119	男	1940代		②	軽減	○	⑩			●	●	●	ウ	右上下葉小結節影	
120	女	1940代	⑧、⑩	⑧、⑩	軽減	○	⑩			●	●		ウ	右肺炎スリガラス影、右中葉・左舌区・右下葉線痕性変化	
121	女	1920代	②、⑩	②、⑧、⑩	軽減	○	②、⑩			●	●		ウ	右中葉小結節影	
122	女	1930代	②、⑧	②、⑩	軽減	○	②			●	●		ウ		
123	女	1960代	なし	なし	不変	—	なし			●		●	ウ		
124	男	1930代	⑨、⑩	なし	不変	—	なし			●		●	ウ		
125	女	1920代	②、⑩	②、⑩	軽減	○	②、⑩			●		●	ウ	右中葉線痕	
126	女	1930代	②、⑩	②	不変	○	②			●		●	ウ		
127	女	1950代	②	②	不変	○	②			●		●	ウ		
128	男	1920代	②、⑤、⑥、 ⑨、⑩	②、⑤	軽減	○	②、⑥			●		●	ウ		
129	男	1930代	②、⑤	②	軽減	○	②、⑩			●		●	ウ	右小結節影	
130	女	1950代	⑩	⑩	軽減	—	⑩			●		●	ウ	左小結節影	
131	男	1930代	⑩	⑩	不変	—	⑩			●		●	ウ	左上肺陳旧性変化	
132	女	1940代	⑩	⑩	軽減	—	なし			●		●	ウ		
133	男	1970代	なし	なし	不変	—	なし			●		●	ウ		
134	女	1950代	⑥、⑩	⑩	不変	—	⑩			●		●	ウ	両側肺尖部、のう胞性病変	
135	女	1950代	なし	なし	不変	—	なし			●		●	ウ		
136	女	1950代	⑧	⑧、⑩	不変	○	⑩			●		●	ウ	両肺尖陳旧性、炎症性変化 小結節影	
137	女	1970代	⑩	⑩	不変	—	⑩			●		●	ウ	心拡大	
138	女	1940代		⑩	軽減	—	なし			●		●	ウ		
139	女	1950代		⑩	不変	—	⑩			●		●	ウ	右肺炎炎症性線痕	
140	男	1940代		なし	不変	—	なし			●		●	ウ		
141	女	1960代		なし	不変	—	なし			●		●	ウ		
142	女	1930代		⑩	不変	—	⑩			●		●	ウ	両肺尖陳旧性変化	
143	女	1950代		②、⑩	軽減	○	②、⑩			●		●	ウ	右上葉線痕	
144	女	1930代		②、⑥、⑩	軽減	○	②			●		●	ウ		
145	女	1940代		⑧、⑩	不変	○	⑩			●		●	ウ	心拡大、左下肺小結節、炎症 性線痕	
146	女	1960代		⑩	軽減	—	なし			●		●	ウ		
147	女	1950代		⑩	軽減	—	なし			●		●	ウ		
148	女	1930代		⑩	軽減	—	なし			●		●	ウ		
149	女	1950代		②	不変	○	②			●		●	ウ		
150	女	1940代		⑩	軽減	—	なし			●		●	ウ		
151	女	1960代		⑩	軽減	—	なし			●		●	ウ		
152	女	1950代		②	不変	○	②			●		●	ウ		
153	男	1940代		②⑩	軽減	○	②			●		●	ウ		
154	女	1920代		⑩	不変	—	⑩			●		●	ウ	両上肺陳旧性炎症性変化	
155	男	1950代		なし	不変	—	なし			●		●	ウ		

症例番号	性別	生年(西暦)	2007年度所見	2008年度所見	2009年度X線所見	2009年度CT	最新の所見	ア 直接肺歴あり	イ 間接肺歴あり	ウ 家庭内ばく露あり	エ 立入、屋内ばく露あり	オ その他	ばく露歴分類	備考 (他所見など)	調査終了理由
156	女	1940代		⑩	不変	—	⑩			●		●	ウ	両肺炎陳旧性炎症性変化	
157	女	1930代		②、⑩	軽減	○	②⑩			●		●	ウ	両側性散在性癒痕	
158	男	1950代		②	軽減	○	②			●		●	ウ		
159	女	1980代		なし	不変	—	なし			●		●	ウ		
160	女	1930代		②、⑩	軽減	○	②、⑩			●		●	ウ	右上葉のう胞、左舌区・右中葉癒痕	
161	女	1940代		②、⑥	軽減	○	②疑			●		●	ウ		
162	女	1940代	⑩	なし	不変	—	なし			●			ウ		
163	女	1940代	⑩	⑩	不変	—	⑩			●			ウ	両肺炎部胸膜肥厚	
164	女	1940代	⑧、⑩	⑩	軽減	○	⑩			●			ウ	肺底部癒痕	
165	男	1940代	⑩	⑩	不変	○	⑩			●			ウ	右下葉のう胞、右上葉癒痕 右肺底部のう胞、右上葉癒痕	
166	女	1940代	⑩	なし	不変	—	なし			●			ウ		
167	女	1940代	⑩	なし	新所見	—	⑩			●			ウ	心拡大	
168	女	1940代	②、⑨、⑩	②	軽減	○	②			●			ウ		
169	女	1940代		⑩	不変	—	⑩			●			ウ	心拡大	
170	女	1940代		⑩	軽減	—	なし			●			ウ		
171	女	1960代				○	⑩			●			ウ	右上肺小結節影	
172	男	1940代				○	②、⑥、⑩			●			ウ	左下葉板状無気肺	
173	男	1930代	⑩	⑩	不変	○	⑩				●	●	エ	右肺陳旧性変化(石灰化) 右肋骨術後、右横隔膜挙上	
174	女	1940代	⑩	⑥	軽減	—	⑩				●	●	エ	左肋横角不明瞭化	医療の必要あり
175	男	1930代	⑨、⑩	⑩	不変	—	⑩				●	●	エ	心陰影拡大	
176	女	1930代	⑩	⑩	軽減	—	なし				●	●	エ		
177	女	1920代	⑩	⑩	不変	—	⑩				●	●	エ	食道裂孔ヘルニア	
178	女	1960代	⑩	⑩	軽減	—	なし				●	●	エ		
179	男	1940代	⑩	なし	不変	—	なし				●	●	エ		
180	男	1930代		なし	不変	—	なし				●	●	エ		
181	男	1930代		②、⑥、⑩	軽減	○	②疑、⑥疑				●	●	エ		
182	男	1970代		なし	不変	—	なし				●	●	エ		
183	男	1940代		なし	不変	—	⑩、				●	●	エ	右肺炎癒痕性変化	
184	男	1940代		②、⑩	軽減	○	②疑、⑥疑				●	●	エ		
185	男	1930代		⑩	軽減	○	⑩				●	●	エ	左背側癒痕陰影	
186	男	1940代		②、⑥	軽減	○	②、⑥				●	●	エ		
187	女	1960代		⑩	軽減	○	⑩				●	●	エ	右下葉小結節影	
188	男	1940代		⑧、⑩	不変	—	⑩				●	●	エ	右肺不整形陰影	
189	男	1940代		②、⑩	不変	○	②、⑩				●	●	エ	肺気腫、両上葉癒痕性変化	
190	男	1930代		⑧、⑩	不変	○	⑩				●	●	エ	両肺小結節影	
191	男	1940代		⑩	軽減	—	なし				●	●	エ		
192	男	1940代				○	⑩				●	●	エ	右中葉小結節影	
193	男	1970代	なし	なし	不変	—	なし				●		エ		
194	男	1930代	②	②	不変	○	②				●		エ		
195	男	1940代				○	⑩				●		エ	右肺門部索状影、左右癒痕性変化、右上葉炎症性変化、左腎石灰化	医療の必要あり

症例番号	性別	生年(西暦)	2007年度所見	2008年度所見	2009年度X線所見	2009年度CT	最新の所見	ア 直接観察あり	イ 間接観察あり	ウ 家庭内ばく菌あり	エ 立入・屋内遊ばく菌あり	オ その他	ばく露 歴分類	備考 (その他所見など)	調査終了理由
196	男	1940代				○	⑩				●		エ	肺野の間質影(石綿以外の原因である可能性が高い)、両肺肺気腫、右下肺のう胞	医療の必要あり
197	女	1970代	なし	なし	不変	—	なし					●	オ		
198	女	1940代	⑩	なし	不変	—	なし					●	オ		
199	女	1940代	⑧	⑧	軽減	○	⑩					●	オ	右肺小結節影	
200	女	1970代	⑩		軽減	—	なし					●	オ		
201	女	1940代	⑤、⑥、⑩	⑤、⑥	軽減	○	⑩					●	オ	肺野の間質影(石綿以外の原因である可能性が高い)、陳旧性変化(肺尖)	
202	男	1940代	②	②、⑧	軽減	○	②					●	オ		
203	女	1950代	⑩	⑩	不変	—	⑩					●	オ	両肺尖癒痕陰影	
204	男	1970代	⑩	なし	不変	—	なし					●	オ		
205	男	1960代	⑩	⑩	不変	—	⑩					●	オ	右側大動脈弓	
206	女	1930代	⑩	なし	不変	—	なし					●	オ		
207	女	1970代	⑧	なし	不変	—	なし					●	オ		
208	女	1930代	⑧	なし	不変	—	なし					●	オ		
209	女	1930代	なし	なし	不変	—	なし					●	オ		
210	男	1970代	なし	なし	不変	—	なし					●	オ		
211	男	1930代	②	②	不変	○	②					●	オ		
212	女	1940代	②、⑧、⑩	②、⑧	不変	○	②、⑩					●	オ	右下葉結節影、右下葉癒痕、右下葉石灰化結節	
213	男	1940代	②、⑩	②	不変	○	②、⑩					●	オ	左下葉小結節影、心拡大、冠動脈石灰化	
214	男	1920代	②、⑩	⑤、⑥、⑧、⑩	軽減	○	②疑、⑥、⑩					●	オ	気腫性変化	
215	男	1930代	②、⑤、⑥、⑩	②、⑤、⑧	不変	○	②、⑥					●	オ		
216	男	1930代	②、⑩	②	不変	○	②					●	オ		
217	女	1940代	②、⑧、⑩	②、⑧	軽減	○	②、⑩					●	オ	両肺小結節影、傍脊椎結節病変、神経鞘腫陰影、脾臓石灰化	
218	男	1950代	⑤、⑥、⑧、⑩	⑩	軽減	○	②疑、⑩					●	オ	気腫性変化	
219	男	1960代	⑤、⑥、⑩	⑤	軽減	○	⑥					●	オ		
220	男	1940代	⑥、⑩	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
221	女	1940代	⑩	なし	不変	—	なし					●	オ		
222	女	1960代	⑤	⑤	軽減	—	なし					●	オ		
223	女	1960代	⑩	なし	不変	—	なし					●	オ		
224	女	1950代	⑩	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
225	女	1950代	⑩	なし	新所見	—	⑩					●	オ	両肺尖炎症性癒痕	
226	女	1960代	⑩	なし	不変	—	なし					●	オ		
227	男	1930代	②	②	軽減	○	②					●	オ		
228	女	1960代	⑩	なし	不変	—	なし					●	オ		
229	男	1950代	なし	なし	不変	—	なし					●	オ		
230	女	1950代	なし	なし	不変	—	なし					●	オ		
231	女	1940代	⑩		軽減	—	なし					●	オ		
232	男	1930代	⑧、⑩	⑧、⑩	不変	○	⑩					●	オ	右下葉小結節影、肺気腫	
233	女	1940代	⑩	⑩	不変	—	⑩					●	オ	両側陳旧性炎症性変化	
234	女	1932代	⑩	⑤、⑩	不変	—	⑩					●	オ	心拡大	
235	女	1940代	⑩	なし	不変	—	なし					●	オ		

症例番号	性別	生年(西暦)	2007年度所見	2008年度所見	2009年度X線所見	2009年度CT	最新の所見	ア 直接観察あり	イ 問診観察あり	ウ 家庭内ばく露あり	エ 立入-屋 内環境ばく露あり	オ その他	ばく露 歴分類	備考 (その他所見など)	調査終了理由
236	女	1950代	②、⑩	②	軽減	○	②、⑩					●	オ	左下肺小結節影	
237	女	1940代	⑩	⑩	軽減	-	なし					●	オ		
238	女	1960代	⑧、⑩	⑧	軽減	-	なし					●	オ		
239	男	1930代	②	②、⑧、⑩	軽減	○	②					●	オ		
240	女	1940代	⑩	なし	不変	-	なし					●	オ		
241	女	1950代	なし	なし	不変	-	なし					●	オ		
242	女	1950代	⑩	なし	不変	-	なし					●	オ		
243	女	1960代	⑨、⑩	⑩	不変	-	⑩					●	オ	右縦隔リンパ節石灰化	
244	男	1950代	②	②	不変	○	②、⑩					●	オ	左肺底部板状無気肺	
245	男	1930代	②	②、⑤、⑥、⑩	-	○	②					●	オ		
246	女	1930代	なし	⑩	-	○	⑩					●	オ	左下葉陳旧性変化	
247	女	1930代	⑩	なし	不変	-	なし					●	オ		
248	女	1930代	⑩	なし	不変	-	なし					●	オ		
249	男	1940代	⑩	なし	不変	-	なし					●	オ		
250	男	1950代	②、⑧、⑩	②、⑧、⑩	軽減	○	②、⑩					●	オ	左第9肋骨骨折後変化、肝腫瘍	
251	女	1950代	⑩	なし	不変	-	なし					●	オ		
252	女	1950代	⑩	なし	不変	-	なし					●	オ		
253	女	1960代	なし	なし	不変	-	なし					●	オ		
254	女	1940代	⑩	⑩	不変	-	⑩					●	オ	両側上肺陳旧性変化	
255	女	1940代	②、⑩	②、⑩	軽減	○	②、⑩					●	オ	左右癒痕性変化	
256	男	1950代	⑩	なし	新所見	-	⑩疑					●	オ	左下葉板状無気肺疑い	
257	女	1940代	⑩	⑩	軽減	-	なし					●	オ		
258	女	1930代	⑩	⑩	不変	○	⑩					●	オ	両肺尖部癒痕、右肺小結節影	
259	女	1950代	②、⑩	②	不変	○	②					●	オ		
260	男	1950代	⑩	⑩	不変	-	⑩					●	オ	左肺尖部癒痕	
261	女	1940代	⑩	⑩	不変	-	⑩					●	オ	両肺尖部胸膜肥厚	
262	男	1940代	②、⑩	なし	不変	-	なし					●	オ		
263	女	1970代	なし	なし	不変	-	なし					●	オ		
264	女	1930代	⑩	⑩	不変	-	⑩					●	オ	両肺尖部癒痕	
265	女	1950代		なし	不変	-	なし					●	オ		
266	男	1930代		なし	不変	○	⑩					●	オ	右上肺小結節影	
267	女	1980代		なし	不変	-	なし					●	オ		
268	男	1960代		なし	不変	-	なし					●	オ		
269	男	1940代		⑩	不変	-	⑩					●	オ	心拡大	
270	女	1940代		なし	新所見	-	⑩					●	オ	心拡大	
271	女	1930代		⑩	軽減	-	なし					●	オ		
272	女	1930代		⑩	不変	-	⑩					●	オ	両肺尖部癒痕	
273	女	1960代		⑩	軽減	-	なし					●	オ		
274	男	1950代		②	軽減	○	なし					●	オ		
275	女	1950代		⑩	軽減	-	なし					●	オ		

症例番号	性別	生年(西暦)	2007年度所見	2008年度所見	2009年度X線所見	2009年度CT	最新の所見	ア 直接接歴あり	イ 間接接歴あり	ウ 家庭内ばく露あり	エ 立入・屋内環境ばく露あり	オ その他	ばく露歴分類	備考 (その他所見など)	調査終了理由
276	男	1930代		㉔、㉕	軽減	—	なし					●	オ		
277	男	1930代		㉕	軽減	—	なし					●	オ		
278	男	1940代		㉕	軽減	—	なし					●	オ		
279	男	1950代		㉔	軽減	○	㉕					●	オ	右下小結節影、右下瘰癧陰影	
280	女	1960代		㉔	軽減	○	㉕					●	オ	右下肺小結節影	
281	男	1920代		㉔、㉕	軽減	○	㉔、㉕					●	オ	両側下葉縮小、左肺炎・左上葉・両下葉瘰癧、両側小結節影	
282	女	1950代		なし	不変	—	なし					●	オ		
283	女	1940代		㉕	軽減	—	なし					●	オ		
284	女	1970代		なし	不変	—	なし					●	オ		
285	男	1940代		なし	不変	—	なし					●	オ		
286	女	1940代		なし	不変	—	なし					●	オ		
287	女	1950代		㉕	軽減	—	なし					●	オ		
288	男	1940代		㉕	軽減	—	なし					●	オ		
289	女	1930代		なし	不変	—	なし					●	オ		
290	男	1940代		㉕	不変	—	㉕					●	オ	心拡大	
291	男	1930代		㉕	不変	—	㉕					●	オ	右上葉瘰癧	
292	女	1940代		㉔、㉕	不変	○	㉔疑、㉕					●	オ	心拡大、両下肺すりガラス影、右中葉・左舌区炎症性変化、右中葉小結節影、右下すりガラス影	医療の必要あり
293	女	1930代		㉕	不変	—	㉕					●	オ	両肺尖陳旧性炎症性変化	
294	男	1950代		㉔、㉕	軽減	○	㉕					●	オ	左下小結節影、両上肺のう胞	
295	女	1950代		㉔	軽減	○	㉕					●	オ	右下小結節影	
296	男	1960代		㉕	軽減	—	なし					●	オ		
297	男	1950代		㉕	軽減	—	なし					●	オ		
298	女	1940代		㉕	不変	—	㉕					●	オ	右中下肺野炎症性変化、右上肺野小石灰化影	医療の必要あり
299	男	1930代		㉔、㉕	軽減	○	㉕					●	オ	右中肺陳旧性炎症性変化	
300	男	1940代		㉕	軽減	—	なし					●	オ		
301	女	1940代		㉕	不変	—	㉕					●	オ	左右陳旧性変化	
302	男	1930代		㉔、㉕	不変	○	㉕					●	オ	右中葉浸潤影、右葉虚脱気管支拡張、左肺底部小結節影	
303	女	1960代		㉕	軽減	—	なし					●	オ		
304	男	1950代		㉕	不変	—	㉕					●	オ	両上葉陳旧性炎症性変化	
305	女	1950代		なし	不変	—	なし					●	オ		
306	女	1960代		㉕	軽減	—	なし					●	オ		
307	女	1930代		㉕	軽減	—	なし					●	オ		
308	男	1940代		㉔、㉕	軽減	○	㉔、㉕					●	オ	右肺底部小結節影	
309	女	1950代		㉕	軽減	—	なし					●	オ		
310	女	1950代		㉕	不変	—	㉕					●	オ	右肺尖陳旧性瘰癧	
311	女	1950代		㉕	軽減	○	㉕					●	オ	右肺尖部ブラ、右肺小結節影	
312	女	1930代		㉕	軽減	—	なし					●	オ		
313	男	1950代		なし	不変	—	なし					●	オ		
314	男	1970代		㉕	軽減	—	なし					●	オ		
315	女	1940代		㉕	軽減	—	なし					●	オ		



症例番号	性別	生年(西暦)	2007年度所見	2008年度所見	2009年度X線所見	2009年度CT	最新の所見	ア 直接露歴あり	イ 間接露歴あり	ウ 家庭内ばく露あり	エ 立入・屋内環境ばく露あり	オ その他	ばく露歴分類	備考 (その他所見など)	調査終了理由
316	男	1930代		㊦	新所見	○	㊲、㊳					●	オ	左上葉小結節影	
317	男	1960代		なし	不変	—	なし					●	オ		
318	男	1950代		なし	不変	—	なし					●	オ		
319	女	1960代		なし	不変	—	なし					●	オ		
320	女	1950代		㊱	軽減	—	なし					●	オ		
321	女	1960代		なし	不変	—	なし					●	オ		
322	女	1950代		なし	不変	—	なし					●	オ		
323	女	1940代		㊱	軽減	—	なし					●	オ		
324	女	1930代		㊲、㊳	軽減	—	㊱					●	オ	癒痕陰影	
325	女	1930代		㊲、㊳	軽減	○	㊲					●	オ		
326	男	1930代		㊲、㊳	軽減	○	㊱					●	オ	小結節影	
327	男	1940代		なし	不変	—	なし					●	オ		
328	女	1950代		㊲、㊳	不変	○	㊱					●	オ	両肺小結節影・癒痕陰影	
329	女	1950代		㊲	軽減	—	なし					●	オ		
330	女	1950代		なし	不変	—	なし					●	オ		
331	女	1950代		なし	不変	—	なし					●	オ		
332	男	1940代		なし	不変	—	なし					●	オ		
333	男	1940代		㊲、㊳	軽減	—	なし					●	オ		
334	男	1940代		㊱	不変	○	㊱					●	オ	右肋横角鈍化、右中葉癒痕、右肺底部結節影	
335	男	1940代		㊲	不変	○	㊲					●	オ		
336	男	1920代		㊲、㊳、㊴	不変	○	㊱					●	オ	肺野の間質影(石綿以外の原因である可能性が高い)、右上小結節陰影、道裂孔ヘルニア	
337	男	1940代		㊲、㊳	軽減	○	㊱					●	オ	右上葉癒痕陰影・小結節	
338	男	1940代		㊲、㊳	軽減	○	㊲、㊳					●	オ	右肺尖部癒痕、左肺底部癒痕	
339	女	1950代		㊲、㊳	不変	○	㊱					●	オ	左横隔膜挙上、右肺尖石灰化、左上葉小結節、右中葉癒痕	
340	男	1940代		なし	不変	—	なし					●	オ		
341	女	1940代		㊱	軽減	—	なし					●	オ		
342	女	1950代		㊱	軽減	○	㊱					●	オ	右中葉炎症性癒痕	
343	女	1960代				○	㊱					●	オ	左下葉極小結節影	
344	女	1940代				○	なし					●	オ		
345	女	1950代				○	㊱					●	オ	両肺陈旧性炎症性変化	
346	男	1950代				○	㊱					●	オ	肺野の間質影(石綿以外の原因である可能性が高い)	
347	男	1950代				○	なし					●	オ		
348	男	1940代				○	㊲癒、㊳					●	オ	左肺石灰化、左肺小結節影	
349	男	1930代				○	㊱					●	オ	右上葉のう胞	
350	男	1950代				○	なし					●	オ		
351	女	1950代				○	㊱					●	オ	肺野の間質影(石綿以外の原因である可能性が高い)、右肺底部癒痕	
352	女	1940代				○	㊱					●	オ	右肺門部陰影、右中葉のう胞、右下葉小結節影	
353	女	1940代				○	㊱					●	オ	両肺尖陳旧性炎症性変化	
354	女	1940代				○	㊱					●	オ	左下葉板状無気肺	
355	男	1940代				○	㊱					●	オ	肺野の間質影(石綿以外の原因である可能性が高い)、右上葉癒痕、のう胞性変化、左右気管支拡張、癒痕性変化	医療の必要あり

症例番号	性別	生年(西暦)	2007年度所見	2008年度所見	2009年度X線所見	2009年度CT	最新の所見	ア 直接接歴あり	イ 間接接歴あり	ウ 家庭内ばく露あり	エ 立入・屋内環境ばく露あり	オ その他	ばく露歴分類	備考 (その他所見など)	調査終了理由
356	女	1960代				○	なし					●	オ		
357	女	1950代				○	㊶					●	オ	両肺尖陳旧性変化、両側小結節陰影	
358	女	1970代				○	なし					●	オ		
359	女	1920代				○	㊶					●	オ	右肺炎症性変化疑、右上肺気管支拡張	医療の必要あり
360	女	1980代				-	なし					●	オ		
361	女	1980代				○	なし					●	オ		
362	女	1950代				○	なし					●	オ		
363	男	1950代				○	㊲、㊶					●	オ	両肺尖のう胞	
364	男	1950代				○	㊲、㊶					●	オ	右下葉小結節影、肝石灰化、右中葉癒痕	
365	男	1970代				○	なし					●	オ		
366	女	1950代				○	㊲疑					●	オ		
367	女	1980代				○	なし					●	オ		
368	女	1950代				○	㊶					●	オ	右中葉癒痕	
369	女	1980代				○	なし					●	オ		
370	女	1980代				○	㊶					●	オ	胸腺腫大疑	医療の必要あり
371	男	1940代				○	㊶					●	オ	右陳旧性肋膜炎、右陳旧性胸膜炎、右下葉癒痕性変化	
372	女	1940代				○	㊶					●	オ	両上肺癒痕陰影、縦隔の石灰化	
373	女	1960代				○	㊶					●	オ	両肺の壁の厚いう胞性変化	医療の必要あり
374	女	1940代				-	なし					●	オ		

A-2表 2009年度受診者: 11名(平成2年以降に奈良県に居住していた者)

症例番号	性別	生年(西暦)	2007年度所見	2008年度所見	2009年度X線所見	2009年度CT	最新の所見	ア 直接接歴あり	イ 間接接歴あり	ウ 家庭内ばく露あり	エ 立入・屋内環境ばく露あり	オ その他	ばく露歴分類	備考 (その他所見など)	調査終了理由
1	男	1930代	㊶	㊶、㊶	軽減	○	㊲疑、㊶	●					ア	右肺小結節影	
2	男	1930代	㊲、㊶	㊲、㊶	不変	○	㊲、㊶	●					ア	右肺尖陳旧性変化	
3	男	1940代		㊲、㊶	軽減	○	㊲	●				●	ア		
4	男	1960代				○	なし	●					ア		
5	女	1960代	㊶、㊶	なし	新所見	-	㊶					●	オ	左肺炎症性変化 陳旧性変化	
6	男	1930代	㊲、㊶	㊲、㊶	軽減	○	㊲					●	オ		
7	男	1950代	㊶、㊶、㊶	㊶	不変	-	㊶					●	オ	右横隔膜挙上	
8	男	1960代	㊶	なし	不変	-	なし					●	オ		
9	男	1970代	㊶、㊶	㊶、㊶	不変	-	㊶					●	オ	左下肺小結節影 右上葉炎症性変化	
10	男	1960代		なし	不変	-	なし					●	オ		
11	男	1960代		なし	不変	-	なし					●	オ		

A表-3(別表): 2009年度受診していない方(過去に受診歴のある方)

症例番号	性別	生年(西暦)	2007年度所見	2008年度所見	2009年度X線所見	2009年度CT	最新の所見	ア、直接嚥下あり	イ、間接嚥下あり	ウ、家庭内ばく露あり	エ、立入、居内喫煙ばく露あり	オ、その他	ばく露歴分類	備考(その他所見)	調査終了理由
1	男	1920代	⑨、⑩	受診せず	受診せず	-	⑨、⑩	●	●				ア	肺線維症、のう胞、気管支拡張、リンパ節石灰化	
2	女	1960代	なし	受診せず	受診せず	-	なし	●	●				ア		
3	男	1940代	受診せず	⑩	受診せず	-	⑩	●	●				ア	肺気腫、気管支壁肥厚	
4	男	1950代	⑤、⑥、⑨、⑩	受診せず	受診せず	-	⑤、⑥、⑨、⑩	●	●	●			ア	間質性肺炎	
5	女	1940	②、⑩	受診せず	受診せず	-	②、⑩	●	●		●		ア	炎症性変化、気管支拡張	
6	女	1930代	②、⑩	受診せず	受診せず	-	②、⑩	●	●		●		ア	癌痕性変化	
7	男	1930代	⑨、⑩	⑩	受診せず	-	⑩	●	●		●		ア	心拡大、肺動脈拡張	
8	男	1930代	⑩	受診せず	受診せず	-	⑩	●	●		●		ア	陳旧性炎症性変化、肺炎左上葉のう胞	
9	女	1950代	受診せず	⑩	受診せず	-	⑩	●	●		●		ア	右下肺石灰化、心拡大、右上肺癌痕陰影、縦隔リンパ節石灰化	
10	女	1920代	受診せず	②、⑩	受診せず	-	②、⑩	●	●		●		ア	右中葉気管支拡張を伴う炎症性癌痕	
11	女	1930代	②、⑥	受診せず	受診せず	-	②、⑥	●	●				ア	小結節陰影	
12	男	1940代	受診せず	②、⑩	受診せず	-	②、⑩	●	●				ア	右肺炎炎症性癌痕(胸膜肥厚あり)	
13	男	1930代	受診せず	②、③、⑥、⑩	受診せず	-	②、③、⑥、⑩	●	●				ア	両肋横角消失・鈍、右下葉円形性無気肺疑い、左下葉石灰化を伴う結節影、両下葉結節影、左右のう胞、胆石	
14	女	1970代	受診せず	なし	受診せず	-	なし	●	●				ア		
15	男	1970代	受診せず	⑩	受診せず	-	⑩	●	●				ア	右癌痕、高度脂肪肝	
16	男	1930代	⑩	受診せず	受診せず	-	⑩	●	●			●	ア	左肺炎癌痕性変化、左肺門部リンパ節石灰化、胆石	
17	男	1930代	⑧	受診せず	受診せず	-	⑧	●	●			●	ア		
18	男	1940代	⑩	受診せず	受診せず	-	⑩	●	●			●	ア	術後癌痕	
19	男	1970代	なし	受診せず	受診せず	-	なし	●	●			●	ア		
20	男	1940代	②	受診せず	受診せず	-	②	●	●			●	ア		
21	男	1940代	なし	受診せず	受診せず	-	なし	●	●			●	ア		
22	男	1930代	⑩	受診せず	受診せず	-	⑩	●	●			●	ア	両側肺炎胸膜肥厚	
23	男	1930代	②、⑩	受診せず	受診せず	-	②、⑩	●	●			●	ア	肝のう胞、癌痕陰影	
24	男	1960代	なし	受診せず	受診せず	-	なし	●	●			●	ア		
25	男	1920代	⑩	受診せず	受診せず	-	⑩	●	●			●	ア	右上下葉癌痕、腎石灰化	
26	女	1950代	なし	なし	受診せず	-	なし	●	●			●	ア		
27	女	1950代	なし	受診せず	受診せず	-	なし	●	●			●	ア		
28	男	1940代	なし	なし	受診せず	-	なし	●	●			●	ア		
29	男	1920代	⑩	受診せず	受診せず	-	⑩	●	●			●	ア	心拡大、肝のう胞、胆管拡張、胆道気腫、膵管拡張	
30	男	1940代	②、⑩	②、⑩	受診せず	-	②、⑩	●	●			●	ア	両肺炎部癌痕、右中葉・左下葉・上葉舌区癌痕	
31	男	1950代	受診せず	⑩	受診せず	-	⑩	●	●			●	ア	右中葉・左舌区炎症性癌痕	
32	男	1940代	受診せず	⑩	受診せず	-	⑩	●	●			●	ア	軽度脾腫	
33	男	1960代	受診せず	なし	受診せず	-	なし	●	●			●	ア		
34	男	1970代	受診せず	なし	受診せず	-	なし	●	●			●	ア		
35	男	1930代	受診せず	②、⑩	受診せず	-	②、⑩	●	●			●	ア	リンパ節石灰化	
36	男	1940代	受診せず	⑩	受診せず	-	⑩	●	●			●	ア	右中葉・左下葉粒状影、胆石、脂肪肝、左右肺底部癌痕	
37	男	1930代	受診せず	⑩	受診せず	-	⑩	●	●			●	ア	小癌痕性変化	
38	男	1940代	受診せず	②、⑥	受診せず	-	②、⑥	●	●			●	ア		
39	男	1940代	受診せず	②、⑥	受診せず	-	②、⑥	●	●			●	ア		
40	女	1930代	受診せず	②、⑥	受診せず	-	②、⑥	●	●			●	ア		

症例番号	性別	生年(西暦)	2007年度所見	2008年度所見	2009年度X線所見	2009年度CT	最新の所見	ア. 直接膿瘍あり	イ. 間接膿瘍あり	ウ. 縦隔内ばく露あり	エ. 立入・縫内膿瘍ばく露あり	オ. その他	ばく露歴分類	備考(その他所見)	調査終了理由
41	男	1930代	受診せず	⑩	受診せず	-	⑩	●				●	ア	肺野低吸収域・気腫性変化、左右縦隔、肝のう胞	
42	女	1930代	受診せず	⑩	受診せず	-	⑩	●				●	ア	左右肺野低吸収域・気腫性変化、炎症性癒痕、炎症による胸膜肥厚	
43	男	1930代	受診せず	②、⑥、⑩	受診せず	-	②、⑥、⑩	●				●	ア	心陰影拡大、右のう胞	
44	男	1930代	②、⑩	受診せず	受診せず	-	②、⑩	●					ア	右肺小結節陰影	
45	男	1930代	⑩	なし	受診せず	-	なし	●					ア		
46	男	1940代	⑩	⑩	受診せず	-	⑩	●					ア	右肋横角鈍化	
47	男	1920代	②	②、⑩	受診せず	-	②、⑩	●					ア	肝のう胞	
48	男	1939	②、⑩	受診せず	受診せず	-	②、⑩	●					ア	肝のう胞	
49	男	1930代	②、⑩	②、⑩	受診せず	-	②、⑩	●					ア	左右のう胞、左甲状腺腫痛	
50	男	1930代	②、⑩	受診せず	受診せず	-	②、⑩	●					ア	左肺炎症性癒痕、気管支狭窄	
51	男	1950代	⑩	受診せず	受診せず	-	⑩	●					ア	肝のう胞	
52	女	1940代	⑩	受診せず	受診せず	-	⑩	●					ア	肝のう胞、左下肺・両肺炎症性癒痕	
53	女	1950代	なし	受診せず	受診せず	-	なし	●					ア		終(死亡)
54	男	1920代	②、⑩	受診せず	受診せず	-	②、⑩	●					ア	右傍脊柱部胸膜肥厚、右下肺網状影、両下肺野優位すりガラス影	
55	男	1970代	なし	なし	受診せず	-	なし	●					ア		終(労災認定対象のため)
56	男	1930代	受診せず	②、⑤、⑥、⑨、⑩	受診せず	-	②、⑤、⑥、⑨、⑩	●					ア	右肺尖部胸膜肥厚	
57	男	1940代	受診せず	なし	受診せず	-	なし	●					ア		
58	男	1940代	受診せず	②、⑥、⑩	受診せず	-	②、⑥、⑩	●					ア	胆石、右下肺癒痕陰影	
59	男	1940代	受診せず	なし	受診せず	-	なし	●					ア		
60	男	1970代	受診せず	なし	受診せず	-	なし	●					ア		
61	男	1930代	受診せず	⑩	受診せず	-	⑩	●					ア	両側肺尖部癒痕	
62	男	1930代	⑤、⑩	⑩	受診せず	-	⑩		●	●	●	●	イ	左上下葉癒痕	終(死亡)
63	女	1930代	⑩	⑩	受診せず	-	⑩		●	●	●	●	イ	右肋横角消失・鈍、右中葉炎症性変化	
64	女	1950代	⑩	受診せず	受診せず	-	⑩		●	●		●	イ	奇形脈管、左上肺すりガラス様陰影、炎症性癒痕	
65	女	1940代	②、⑩	②、⑩	受診せず	-	②、⑩		●	●		●	イ	心拡大	
66	女	1960代	受診せず	なし	受診せず	-	なし		●	●		●	イ		
67	男	1940代	⑩	受診せず	受診せず	-	⑩		●		●	●	イ	胆石	
68	男	1950代	②	受診せず	受診せず	-	②		●		●	●	イ		
69	女	1940代	⑩	受診せず	受診せず	-	⑩		●			●	イ	肝のう胞、腎のう胞	
70	男	1930代	⑩	受診せず	受診せず	-	⑩		●			●	イ	肝のう胞	
71	男	1930代	②、⑤	②、⑩	受診せず	-	②、⑩		●			●	イ	軽度気腫性変化	
72	女	1940代	⑩	受診せず	受診せず	-	⑩		●			●	イ	両側上葉野癒痕性変化、両肺尖胸膜肥厚	
73	女	1960代	なし	受診せず	受診せず	-	なし		●			●	イ		
74	男	1950代	⑨、⑩	受診せず	受診せず	-	⑨、⑩		●			●	イ	左下肺石灰化、両肺尖部陈旧性炎症性変化	
75	男	1970代	⑥⑩	受診せず	受診せず	-	⑥⑩		●			●	イ	両側上肺野優位微細粒状影、すりガラス影	
76	男	1940代	受診せず	⑩	受診せず	-	⑩		●			●	イ	両側肺癒痕性変化、肝石灰化、肝嚢胞	
77	男	1930代	受診せず	⑤、⑩	受診せず	-	⑤、⑩		●			●	イ	左肺内石灰化像、左肺嚢胞、右肺尖部・左上葉癒痕	
78	男	1920代	受診せず	②、⑥	受診せず	-	②、⑥		●			●	イ		終(治療中)
79	女	1950代	受診せず	⑩	受診せず	-	⑩		●			●	イ	左甲状腺結節影	
80	女	1950代	受診せず	②、⑩	受診せず	-	②、⑩		●			●	イ	右肺尖癒痕疑い、右上葉・左肺炎・右葉癒痕性変化	